

# 新潟大学の留学制度について

短期から長期まで、様々な留学プログラムを提供しています

新潟大学では、留学の目的や学習段階に応じて、留学の機会を幅広く提供しています。より多くの学生に国際経験の場を提供するために、海外が初めてでも参加しやすい「ショートプログラム」から、海外で各学部での専門分野を短期間学ぶ「専門分野プログラム」、さらには1学期間または2学期間の「交換留学」など、多様な留学プログラムを用意しています。



## 1 ショートプログラム

▶ 1週間から5週間程度

＼ まずは留学を体験してみよう！ /

語学研修・異文化体験等を目的とした、全学部の学生を対象としたプログラムです。海外の大学の学生寮に滞在したり、ホームステイをして現地のファミリーと交流したり、海外の生活や異文化に触れることができます。

(例)



北京サマーセミナー



オタゴ大学英語研修

シンガポール・スプリングセミナー



オックスフォード大学スプリングセミナー

## 2 専門分野プログラム

▶ 1週間から数か月

＼ 海外で専門分野を学ぼう！ /

各学部で用意している、それぞれの専門分野を学ぶためのプログラムです。たとえば、海外の医療現場で臨床研修を経験したり、企業でのインターンシップを経験したり、各専攻に合わせたプログラムが組まれています。

(例)



スリランカでの海外研修(理学部)



ハノイ医科大学病院歯科見学(歯学部・ベトナム)

グローバル農力養成プログラム(農学部・トルコ)



G-DORM 学生交流プログラム(工学部)

こんな学生に  
オススメ!

- 海外に行ってみたい
- 語学を集中的に学びたい
- 異文化に触れてみたい

こんな学生に  
オススメ!

- 海外で専門分野の実習をしたい
- 同じ分野を学ぶ海外の学生と交流したい
- 国際会議で発表したい

Pick Up!

## 留学のための語学力準備について

先輩の声

工学部 河口 真優 さん

2021年8月 オタゴ大学英語研修オンライン  
2023年2月～2023年11月 シドニー工科大学交換留学  
(2022年4月 IELTS 6.5を取得し、正規科目履修コースで留学)

2021年の大学入学時、全く英語を話すことが出来なかった私が、どのように語学の準備をして、シドニー工科大学でも1学期目から学部の授業(工学系)を現地学生に混ざり勉強することができたかをご紹介します。

**英語漬けにする:**入学後からオンライン英会話を利用して英会話の練習を毎日していました。勉強以外にも、英語の映画やテレビを見たり音楽を聴いたり、大学の授業以外、日本語を使う機会が生活の中にほとんどない状態でした。

**大学が提供しているものを活用する:**新潟大学から提供されているFL-SALKやロードアイランド大学との交流イベント「しゃべり場」などを英語を話す機会として

積極的に利用しました。また、大学1年生の時にはiStepという授業を受講し、留学前にも多くの英語の授業を履修して話す練習をしました。iStepでは英語でのエッセイの書き方やプレゼンテーションの仕方といった留学先で必要になる技能をネイティブの先生から全て英語で学ぶことが出来ました。iStepは少人数のクラスなので先生方から手厚いフィードバックを貰っていたことがとても良かった点です。

**スコアアップのための勉強をする:**初めてIELTSを受験した時(2021年12月)は、明確な目標も試験についての知識もなく受験し、OA5.5という結果で、かなり落ち込んだのを覚えています。その後、2回目の受験までの約3か月は、1回目の反省を受けてOA6.0をはっきりと目標に掲げ、テストで得点できる勉強に切り替えました。具体的には、過去問を解くだけでなく、一度解いた問題を時間をかけて解析し復習したり、IELTSにはIELTSでよく使われる単語があるため対策用の単語帳をひたすら周回し、毎日リーディングの音読を繰り返すなど、毎日ひたすらテストに向けて勉強し、目標を上回るIELTS 6.5に達することができました。



## 3 交換留学

▶ 1学期間または2学期間

＼ 本格的に外国語や専門分野を学ぼう！ /

世界中の大学との間で結ばれた交流協定にもとづき、海外の協定校で交換留学生として外国語や専門科目を学ぶ制度です。留学先では、現地の学生や世界各国からの留学生とともに学ぶことができます。

(例)



仁荷大学(韓国)

ロードアイランド大学(アメリカ)



ミュンスター大学(ドイツ)



ナント大学(フランス)



シドニー工科大学(オーストラリア)

北京大学(中国)

こんな学生に  
オススメ!

- 飛躍的に語学力をアップさせたい
- 専門分野への理解をさらに深めたい
- 留学経験を将来に活かしたい

## 体験者の声



経済学部 長谷川 直人 さん

2022年2月～3月 G-DORM学生交流プログラム  
2022年3月 シンガポール・スプリングセミナー・オンライン

高校時代に行ったスイス留学中に英語と会計に興味を持ち、以来将来は会計士として国際的に活躍するために英語圏の大学院への進学を意識しており、新潟大学入学以降、英語学習や留学生との交流の中で、自分の英語力をさらに向上させる必要があると感じると同時に、様々な文化的背景を持つ人たちと関わることで他者理解能力に磨きをかけたいと思うようになりました。

1年次にはG-DORMとシンガポール・スプリングセミナー(SSS)に参加しました。SSSでは、英語研修以外にも、日系グローバル企業で活躍されている方から話を聞く機会が設けられており、海外で働くことへのイメージ形成に役立ちました。ショートプログラムへの参加を通して、語学力だけではなく、専門性と積極性を身に付けることが、国際的な分野で活躍するためには必要不可欠であると学びました。

2年半の英語学習を経てからの留学生活スタートとなりましたが、URIでの生活は本当に充実しています。学修面では、ビジネス系科目とコミュニケーションの授業を履修しています。私の履修している授業は小規模のものが多いのですが、そこでは発言機会が多く与えられ、先生や学生との双方向のやりとりができる点を気に入っています。また私は学生団体に所属しており、種々雑多な背景を持つ人が共存するアメリカで多様性について考えることは非常に有意義であり、私の思考や視野が広がっているように感じています。

留学に興味がある方は思い切って挑戦してみてください。留学を通して得た経験や人とのつながりは今後の人生を考える上で一つの指針となるはずです。言語面や文化面などで苦労することもあると思いますが、それを含めてかけがえのない経験となるでしょう。



ロードアイランド大学の友人と